

2009年2月27日

(株)ノーリツ、家中の
 水道水の硬度を取り除き、硬度1mg/L以下の軟水にする
 「軟水器」発売
 「美容・健康」「水まわり家事省力化」「エコ」を実現

～ 「お湯づくり」に対するニーズに対応 ～

湯まわり設備メーカーの(株)ノーリツ(本社:神戸市、代表取締役社長:神崎茂治、資本金:201億円、東ノ大証一部上場)は、家庭の風呂・台所など全ての水道水を生活価値の高い「硬度1mg/L以下の軟水」に変える家庭内水道インフラとして「軟水器」を4月20日に発売します。軟水使用により「美容・健康」「家事省力化」「エコ」が実現します。

日本は軟水が主と言われていますが、水循環によって地質の影響を受け家庭の蛇口から出てくるまでには、様々な硬度分を有することになります。近年、「水」の質に対する生活者のこだわりは多様化しており、特に家庭内での「水質」を変えたい、という声が高まっています。こうした動きを受け、湯まわり設備メーカーとして、「水」を変え「お湯」を創造する提案として本製品を発売します。



【主な特長】

家中の水と湯を硬度1mg/L以下の「軟水」に！

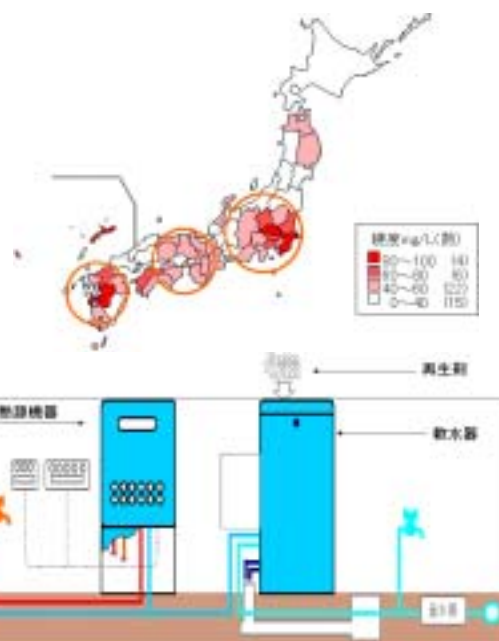
日本は硬度成分が平均60mg/Lの「軟水」の国(世界保健機構(WHO)の区分による)ですが、中には80~100mg/Lの「中程度の軟水」エリアも関東・関西・九州を中心に存在します。

少しでも硬度があると、石けんと硬度成分がくっつき、「石けんカス」が発生し、水周りの汚れ、乾燥肌の原因となります。また、水道水が乾燥すると、硬度成分が白く現れ、風呂場の鏡やガラス食器のくもりなどにつながります。今回の「軟水器」は、水道水に含まれる硬度成分を1mg/L以下に除去した「軟水」をつくれます。

「軟水器」は水道メーターを通ったすぐ後に設置します。軟水器の心臓部「イオン交換樹脂」が水道水中の硬度成分をイオン交換することにより軟水となります。交換によって硬度分がいっぱいになった樹脂は「再生剤」で再び元の状態となります。

*水の中には「カルシウム、マグネシウム、ナトリウム、カリウム」などのミネラルが含まれますが、この「カルシウム」「マグネシウム」が少ないほど軟水と呼ばれています。

*「再生剤」は平均的な使用条件では約60日ごとに補充が必要です。また機器自体も定期的なメンテナンスが必要です。



肌荒れ・髪のパサつきを改善 「エステ」「ヘアサロン」仕様の水に

硬度の高い水道水で入浴すると、洗浄する時に角質層を保護している皮脂膜が壊れやすくなり、石けんカスが発生して肌や髪に付着するため、肌荒れなどにつながりやすくなります。

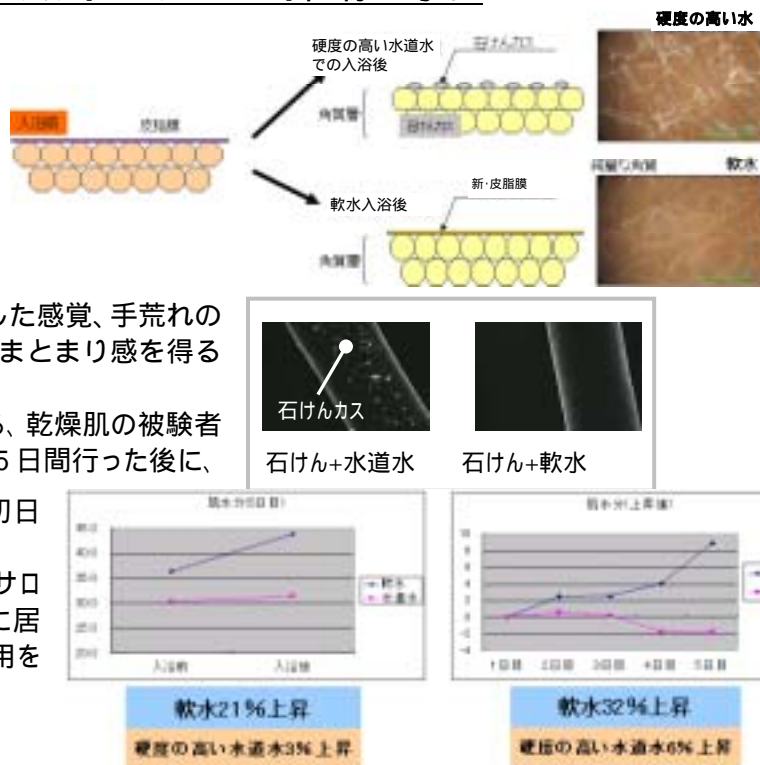
「軟水器」を経て硬度がきわめて低くなった水道水は、入浴時などの「石けんカス」が付着しづらくなります。

洗顔しても肌が突っ張らずしっとりした感覚、手荒れの軽減、洗髪後の髪のパサつきを押さえたままり感を得ることができます。

当社で実際に入浴試験を実施したところ、乾燥肌の被験者が40の軟水のお湯で10分の全身浴を5日間行った後に、

肌水分量が「入浴後」に21%上昇、実験初日から5日後には32%上昇しました。

現在、軟水を導入する「エステ」「ヘアサロン」が増えていますが、「軟水」により自宅に居ながらエステ・サロン仕様といえる水の使用を実現できます。



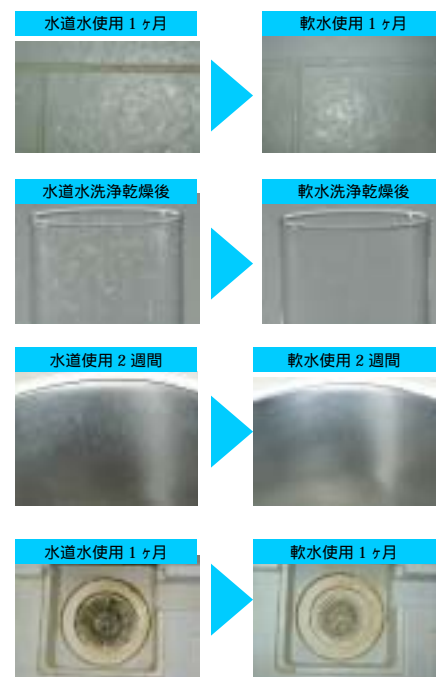
「水アカ」「石けんカス」が残りにくいため、掃除時間が削減！

硬度の高い水道水で身体を洗う時、硬度分と石けんが反応して石けんカスが発生します。石けんカスは汚れを吸着してカビの栄養分になったり、乾燥すると白い汚れのもととなったりします。洗い場がすぐに白くなる、ぬめりや黒ずみが付く、鏡や水栓に白く堅いものがつく、排水口のひどいぬめり、ドア下部にカリカリの固形汚れなどの現象が起きます。軟水にすることで、この水アカや石けんカスが残りにくくなり、水周りのお掃除の負荷も軽減されます。

当社では、関東・関西の一般家庭で軟水を1ヶ月継続使用するモニター試験を実施したところ、風呂においては、特に汚れやすいドア・排水口・排水トラップ、水栓金具・鏡などを1ヶ月掃除せずに放置した場合に、汚れがいずれも水道水を使用した場合より抑えられました。また浴槽も、ざらざらした湯アカ汚れが減少しました。

トイレでは、特に便器内の洗浄水中のカルシウムが原因となる尿石などの汚れが低減しました。

さらに、台所のシンクにも効果がありました。2週間「軟水」を使用したところ、硬度の高い水道水を使用した場合に比べシンクが汚れにくくなりました。食器においても、ガラスコップや金属製食器の曇りが減少しました。



「洗濯洗剤の量」が約35%となり、環境配慮型の水の利用を実現

軟水にすることで石けんカスが発生しづらくなるということは、泡立ちが良好になり、入浴時のボディソープや衣類の洗剤使用量も削減されます。家庭で身近にできるエコロジーとして、環境配慮にもつながります。

毎日の洗濯では、汚れ落ちがいまひとつ、洗濯物がゴワゴワする、溶けない洗剤が衣類

に付着する、などの現象が起きます。これは、硬度の高い水道水で洗濯する時に水の硬度分と洗剤成分が反応することにより石けんカスが発生するためです。その石けんカスは洗濯する機能を弱めてしまい、加えて衣類等に残ることがあります。「硬度 1mg/L 以下の軟水」を使用すると、石けんカスが出来にくいため泡立ちも良く、効果的に衣類の汚れを落とします。当社の試験では、「硬度 1mg/L 以下の軟水」で洗濯用粉石けんを使用したところ、日本の平均硬度 60mg/Lの水で洗濯した場合と比較し 35%の洗剤量で、ほぼ同等の洗浄状態を得ることができました。使用する洗剤の量を減らしたい、環境にやさしい純石鹼を使いたい、洗濯槽の中の汚れが気になるなどの声にもお応えします。

料理の際にも、「だし」の味を活かす

「軟水」は、煮物等の和食については、干しいたけ・昆布などのだしの出や、具材への浸透が良くなります。

